

総合討論

- ① コメントを受けて
- ② 流域物質循環の一例;ブラジルのケース(日本に比べてスケールが大きい)
- ③ 研究プロジェクト化の視点;流域試験地のアピール=芦田川流域、旭川流域
- ④ 国際比較;アジア研究=自然系研究者の研究地域; exマレーシア、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、

コメント by金教授(岡山大学)

- 良い試み=異分野の視野が広い
- 流域は歴史的には重要な意味、現在はその意味は薄い→文化圏はありだが、循環圏は希薄、資源としての意義は重要
- 他大学の研究者の融合が必須
- 地域色は消す必要がある

本日の成果;個別シーズの再確認

- 佐藤;木質バイオマスによるエネルギー自立(特に中国地方)
- 市川;エネルギー技術革新
- 金;農業地域の水・栄養塩再利用
- 清水;高齢化環境影響
- 西村;地域定義
- ...
